



第16回日本脳血管・認知症学会総会  
Vas-Cog Japan 2026  
スポンサードシンポジウム

# 画像がつなぐ認知症診療フロー： 診断・鑑別・モニタリング・治療選択

座長

池田 佳生 先生 群馬大学 大学院医学系研究科 脳神経内科学 教授

下畑 享良 先生 岐阜大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学分野 教授

演題・演者①

## 99mTc-ECD脳血流SPECTで読み解く ADとDLBの鑑別について

木村 成志 先生 大分大学医学部 神経内科学講座 教授

演題・演者②

## 認知症画像診断の実践－臨床症候と統合判断－

山下 徹 先生 富山大学 学術研究部医学系 脳神経内科 教授

演題・演者③

## 抗アミロイド抗体薬時代のAD診療 －アミロイドPETを『治療戦略のコンパス』として使う－

須田 智 先生 日本医科大学大学院医学研究科 神経内科学分野 大学院教授

演題・演者④

## 早期アルツハイマー病診療における 核医学検査の利用法

太田 康之 先生 山形大学医学部内科学第三講座 神経学分野 教授

日時・会場

2026年 8月8日(土) 12:45～14:15

石川県立音楽堂 交流ホール

〒920-0856 石川県金沢市昭和町20-1

共催 第16回日本脳血管・認知症学会総会／PDRファーマ株式会社  
後援 日本脳神経核医学研究会／日本核医学会

## 日本脳神経核医学研究会及び日本核医学会入会のすすめ

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的として平成12年11月3日に発足しました。脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科など臨床診療に携わる医師、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、さまざまな課題に対応するために、ワーキンググループを設置して議論を深めていく予定です。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、核医学の発展のために、是非本研究会、学会にご入会いただきますようお願い申し上げます。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

### 日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F 日本コンベンションサービス株式会社内  
Tel:03-3508-1243 Fax:03-3508-1302 E-mail:infojcnn@convention.co.jp

